すたあとらいん

第125号　社会福祉法人 青い鳥会
2025.07.15

[HP] https://www.hikogaku.com　[E-mail] aoitori@hikogaku.com

特集

Vision Mission Value
ーわたしたちが目指すものー



目　次

・特集　Vision Mission Value
ー私たちが目指すものー …… P2 ～ 3
・事業所ピックアップ …… P4 ～ 5
・事業報告 …… P6 ～ 9
・HP紹介　編集後記 …… P8

特集

Vision Mission Value
ーわたしたちが目指すものー



青い鳥会では働く一人ひとりにとっての指針『Vision・Mission・Value』を策定いたしました。指針に込められた思いについてご紹介いたします。

Vision ー私たちが目指す将来像ー

利用者も職員も地域も一人ひとりの
人生が大切にされ、みんなと共に成長
できる社会の実現を目指します。

まずメンバーで一致したのは「みんな○○」「誰もが○○」というイメージ。
そのままでは抽象的なので、対象をより具体的にして、**「利用者・職員・地域」**という言葉にしました。
「1人ひとりの人生を大切にしたい！されたい！そんな社会であって欲しい！」という思いが込められています。

Mission ー私たちが果たしたい使命ー

利用者の主体性を大切にしその人らしい暮らしを守ります。

職員の持つ夢・想いを実現できる環境を作りそれを未来へ繋いでいく人財を育てます。

地域ニーズや課題に向き合い、地域と協働し、支え合いの仕組みを作ります。

VISIONで描いた社会を目指す中で、「利用者・職員・地域」に対して、私たちは何を手掛けていくのか？
利用者は**「その人らしさ」**、職員は**「夢、想い、未来」**、地域は**「協働、支え合い」**と、それぞれにキーワードを考え、そこからイメージを膨らませて作りました。

Value ー私たちが提供できる価値ー

一人ひとりの想いに寄り添い合うことで、心が満たされ、人として大切にされていることを実感できます。

一人ひとりの生きがい、尊厳が守られ、安心した暮らしを送れます。

一人ひとりが社会と繋がり、変化することを恐れず、挑戦し、常に成長することができます。

私たちが存在することで、相手は何を受け取ることができるのか？
対象を「利用者・職員・地域」とは表現せずに、**「1人ひとり」**という表現にしています。特定の誰かに向けてというよりかは、誰しもに当てはまるようにしたかったからです。
私たちが提供できる価値は、私たちが受け取る価値でもあり、一方向だけでなく、**お互いが贈り合い、受け取り合うもの**だと思うのです。

愛荘町川原事業所　管理者　小川真也

ー込められた思いー

社会福祉法人青い鳥会は、法人の設立以来、盲重複障害者の専門施設として視覚障害と重い知的障害を重複する人たちの生活全般にわたる支援と福祉の向上に努めてきました。

令和６年には法人設立65周年を迎える中で、彦根学園を中心としながら、せいふう、たいせい、川原事業所と運営する事業所も増え、地域から求められる役割もますます増しています。

現在、青い鳥会で働く職員は120名を超え、令和５年には、それぞれの事業所に管理者を置き、事業所の管理体制、それぞれの職域の役割を明確にするとともに、それぞれの部署で職員一人ひとりが活躍する職場でありたいと考えています。

時代の変化の中で、利用者、職員、地域を取り巻く状況は変化していきます。65年の法人の歴史においても、その時々の変化がありました。

これから先、青い鳥会がより良く発展していくために、法人全体のビジョンを明確にし、それぞれの職員がそのビジョンに沿った支援を実践できるようにしたいと考えています。

Vision・Mission・Valueを深めるための対話会





私たちは、Vision・Mission・Valueをテーマに、みんなで語り合う時間を持ちました。各事業所で着実に進んでいます。単にVision・Mission・Valueを掲げるだけではなく、そのVisionの達成のために、事業所ごとにマイルストーン（目標地点）を設定し取り組みを進めています。マイルストーンにおける対話を進めていくことで、それぞれの想いや感じたことを自由に共有し、「一人ひとりを大切にする」ことの意味をあらためて見つめ直す場となりました。

私自身、当法人に入職して20年以上が経ちますが、どんな思いでこの仕事に取り組んできたのか、自分の原点をあらためて言葉にする機会となりました。

また、仲間の話を聞く中で、それぞれが大切にしてきた想いや日々の支援への向き合い方にも触れ、心が温かくなる時間でもありました。今後もこうした対話を大切にし、共に考え、支え合いながら成長していきたいと思います。

彦根学園　施設入所課長　堀内友博

Vision・Mission・Value　今後の取り組み





現在、法人全体で取り組んでいる「Vision・Mission・Value」の浸透活動は、各事業所で着実に進んで、いよいよ「Vision・Mission・Value」の理解と共通認識の醸成が、最終段階を迎えています。

今後は、次のステップとしてマイルストーンの浸透に取り組んでまいります。法人として、1年後・3年後・5年後にどのような姿を目指すのか、各寮の主任を中心に、現状の課題や強みを把握しながら、職員一人ひとりが目標を持って業務にあたれるよう進めていく予定です。

変化を恐れず、利用者の皆様の生活の安全を第一に、一人ひとりの思いに寄り添う支援を大切にしながら、より良い施設づくりを目指してまいります。

彦根学園　生活介護課長　坪井貴博

事業所 PICK UP

職員投票による事業所内表彰が行われました!!



事業所内表彰は、主任以下の職員を対象として賞の内容にふさわしいと思う職員へ事業所内の職員みんなで投票し決定される表彰です。

受賞者は、多くの職員から自身の仕事に対する姿勢を評価される事で自信が持てる・自己肯定感が向上し、仕事へのモチベーションの向上に繋がる。さらには利用者支援の向上につながる事を期待した表彰です。

彦根学園施設長　重森健

表彰者に聞きました

丁寧な支援をありがとう賞

《けやき寮　力石さん》

日々意識して支援は行っているので、これからも利用者の方に安心して過ごしていただけるように頑張ります!!

ベストフォロー賞

《ひまわり寮　廣岡主任》

利用者の皆さんや職員の笑顔を沢山見たい気持ちから、私のできる範囲で努めたつもりですが、反対に私が皆さんに沢山フォローして貰っていると感じています。

MVP賞

《給食　久保田さん》

これまで取り組んできたことを思い起こし、多くの方々に支えられていたと実感しました。専門職としての心構えを新たにしました。

ムードメーカー賞

《川原事業所　廣田さん》

このような素敵な賞を頂きありがとうございます。これからも仕事に対して前向きに取り組んでいけたらと思います。

丁寧な支援をありがとう賞

《あじさい寮　渡邊さん》

賞をいただけて、とても嬉しいです。ありがとうございます。

皆さんが心地よい毎日を過ごせるよう、丁寧な支援を心がけたいです。

QOL向上にチャレンジ賞

《あじさい寮　太田主任》

寮職員だけでなく他部署の方達のフォローもあっての賞だと感じています。これからもチームで協力し楽しく支援をしていきたいです。

助け合い、思いやりが一番だったで賞

《せいふう　岸本さん》

この度は、賞を頂き誠に名誉に思います。今後も利用者様が安心して利用して頂けるようせいふう職員一致団結し務めてまいります。

新任職員・中途入職職員の紹介

『テーマ＊自分をカラーに例えるなら』　①氏名　②所属寮　③休日の過ごし方　④一言

①有馬　志乃里
②ひまわり寮
③家でアニメを見たり、カメラを持って、花や景色を撮りに行ったりしています。
④初めてのことだらけでいっぱいいっぱいになってしまう事も多いですが、先輩の職員の方々が優しく教えていただいているおかげで毎日楽しく働かせていただいてます。利用者の方々に少しずつ名前を覚えてもらえていて、嬉しいです。もっと積極的に利用者の方と関わっていけるように頑張ります。



①藤川　淳子
②ひのき寮
③動く（「マグロ」ですから…）
④楽しく生き活きと！



彦根学園

彦根学園祭開催のお知らせ

運営
ボランティア
も募集中です





今年も10月５日(日)10:00～15:00に「第53回彦根学園祭会い♥あいフェスティバル」を開催いたします。今回の目玉は「大道芸人　丸ちぇろさん」によるステージ発表を予定しています。その他、「近江笑人」によるよさこい・「彦根古城太鼓」による和太鼓演奏、彦根中学校吹奏楽部による楽器演奏などがあります。

その他、模擬店のブースもあり、飲食及び福祉コーナーもありますので、飲食を楽しんでいただくと共に体験を通して、より身近に障害者福祉施設「青い鳥会彦根学園」や他の福祉施設の取り組みを地域に向けて発信していきます。

今年は、「フリーマーケット」を実施しますので、参加していただける方を募集予定です。

皆様のお越しをお待ちしております。　　学園祭実行委員長　濵岸英徳

せいふう

ふりかえりの集い



こんにちは。今回はせいふうの活動から「ふりかえりの集い」をピックアップさせていただきます。せいふうでは音楽、創作、アクトなど様々な活動に取り組んでいますが、日々の活動を写真に撮って残すようにしています。(一年間で約3,000～4,000枚にもなります！！)これらの写真を使い、毎年３月にご家族参加で「ふりかえりの集い」を行っています。

ご家族を交えて一年間の写真のスライドショーを観ていると「あんな所に行きましたね」「またこの活動したいですね」など会話も弾みます。最後は、せいふうで取り組んでいるボッチャで対決。ご家族にも参加して頂き、狙いを定めて「それっ」見事な一球で勝利をつかみ取りました。振り返りの集いを通して一年間の想い出を胸に新しい気持ちで新年度が始まります。

せいふう主任　田端雅美

愛荘町川原事業所

利用者さんが楽しめる新しい活動を



利用者さんが楽しめる新しい活動を！！という事で、すら～ぶでは今年度より「ボッチャ」と「茶話会」を新しく活動に取り入れました。

ボッチャは週に１回程度行い、まずはせいふうの皆さんと対決する事を目標に練習をしています。足型を用意して立ち位置が分かりやすいようにしています。

茶話会はBGMをかけたり観葉植物を置いたりして、カフェのような雰囲気を演出しています。ほっとひといきした利用者さんの表情やその場の雰囲気には職員も癒されています。また、買い物支援も行い、準備から利用者さんと一緒に楽しんでいます。いずれは保護者様や地域の方を招き、利用者さんにカフェスタッフとしてドリンクを出してもらう等ができたら良いなと思っています。

桜満開の時期には、記念撮影もしました。園庭に心地よい風が流れる中、全身で春を感じながら写真を撮り季節を感じる事ができました。

川原事業所　堀内恵

令和６年度事業報告

1. 法人全体・各事業所共有事項について

○理事会・評議員会の開催と主な議題について

５月31日	第１回理事会	令和５年度事業報告及び決算報告　他
６月17日	定時評議員会	令和５年度決算書類等の承認、監事の選任・解任　他
７月16日	第２回理事会（緊急招集）	彦根学園で発生した虐待事案について
７月30日	第３回理事会	キュービクル更新工事請負契約及び第１次補正予算 他
８月21日	第２回評議員会	彦根学園で発生した虐待事案について　他
11月21日	第４回理事会	第２次補正予算「放課後等デイサービスか～む」について　他
１月30日	第５回理事会	就業規則等に関する規程の一部変更　他
３月11日	第６回理事会	令和６年度補正予算、令和７年度当初予算　他

○法人の組織改革について

令和６年度は法人組織の改革に取り組んだ。法人本部会議を立ち上げ、法人運営についての議論を行うと同時に、コンサルティング会社である(株)日本経営の協力を得て、「法人の目指す将来像と職員一人ひとりが日々の業務を行う上での指針、道標となるもの」として、ビジョン・ミッション・バリューを作成した。また、そのビジョン達成に向けて人事制度の再構築のために「人事制度グランドデザイン」作成に取り組んだ。

○ICTの推進について

人材確保や定着がますます困難になりつつある現状において、ICTの導入を積極的に行い、職員の業務効率化を図った。ICT導入は入所施設である彦根学園を主として、施設全館Wi-Fiを完備し、インカム、眠りスキャン、眠りスキャンeye等を導入した。ICT導入に並行して、介護ベッドの導入、介護ロボットの試用を重ね、業務効率化とともに、職員の労働環境の改善にも取り組んだ。法人で働く人材を大切に、今後もICT、介護ロボット等の導入を推進していく。

○虐待防止、権利擁護の取組について

７月に彦根学園男子寮で身体的虐待事案が発生している。再発防止対策として、毎月待防止委員会を開き、再発防止の取り組みの検証と今後の対応の検討を実施した。虐待防止研修を実施し、職員の福祉人としての倫理観と権利擁護意識の向上を図り、再発防止に繋げた。

○その他

気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に係る協定の締結。
障害理解促進・啓発を目的として、彦根学園祭（10/４）川原事業所秋祭り（11/４）を開催。
産休・育休ガイドブックを作成、配布。育休等取得率男女とも100％の達成を継続できた。
キュービクル式高圧受電設備の老朽化に伴う更新工事を実施し、年度内に更新工事が完了。

2．各事業所において

【彦根学園】 障害者支援施設　生活介護・施設入所（定員100名）・短期入所（定員10名）

利用者の高齢化に伴い、利用者、職員双方の負担軽減を目指し、「抱え上げない介護」実践研修終了事業所認定取得に取り組んだ。インカム、眠りスキャンなどのICT機器、介護機器を導入した。入所者１名（男性１名）／退所者２名（女性２名）

【せいふう】 生活介護（定員20名）・短期入所（２名）・日中一時支援

湖東圏域の重症心身障害者通園施設として、看護職員の複数配置、適切な療育、入浴等を継続するとともに、リフター等を使用したノーリフトケアを徹底した。また、機械浴槽を更新した。年度途中３名が退所され、契約数は21名となった。他施設との併用利用も増加傾向である。

愛荘町川原事業所

【すら～ぶ】生活介護(定員20名)

【か ～ む】放課後等デイサービス(定員10名)・日中一時支援

か～むについて多くの新規参入、地域ニーズの充足度合を勘案し、社会福祉法人としての役割を果たしたと判断でき、令和６年度末で閉所した。また、建屋の老朽化に伴い、空調設備等の更新を愛荘町と協議した。令和７年度更新工事を実施予定。

地域支援センターたいせい

【グループホームたちばな】共同生活援助(定員15名)・短期入所(空床型)

【相談支援事業所てんしん】委託相談・一般相談・計画相談・地域移行・地域定着

たちばなでは定員満床を目指した運営を行い、３名が入所され、１月に15名満床となった。てんしんでは、年間936件の計画相談に取り組んだ。また、利用者同士の交流の場等を目的として、たいせい内の大倉庫を多目的とする改修工事を実施した。

決算報告資料

法人単位資金収支計算書(令和６年４月１日～令和７年３月31日)

(単位:円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	1,031,612,000	1,023,786,977	7,825,023
		経常経費寄附金収入	1,880,000	1,998,000	△ 118,000
		受取利息配当金収入	403,000	426,568	△ 23,568
		その他の収入	4,148,000	4,409,035	△ 261,035
		事業活動収入計　(1)	1,038,043,000	1,030,620,580	7,422,420
	支出	人件費支出	674,243,000	672,330,352	1,912,648
		事業費支出	138,487,000	134,690,630	3,796,370
		事務費支出	60,059,000	59,707,855	351,145
		その他の支出	835,000	827,900	7,100
		事業活動支出計　(2)	873,624,000	867,556,737	6,067,263
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		164,419,000	163,063,843	1,355,157
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	116,054,000	112,528,755	3,525,245
		施設整備等収入計　(4)	116,054,000	112,528,755	3,525,245
	支出	固定資産取得支出	207,352,000	206,696,557	655,443
		ファイナンス・リース債務の返済支出	4,422,000	4,412,760	9,240
		施設整備等支出計　(5)	211,774,000	211,109,317	664,683
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 95,720,000	△ 98,580,562	2,860,562
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	41,500,000	41,500,000	
		その他の活動収入計(7)	41,500,000	41,500,000	
	支出	積立資産支出	57,292,000	57,289,880	2,120
		その他の活動支出計(8)	57,292,000	57,289,880	2,120
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 15,792,000	△ 15,789,880	△ 2,120
予備費支出　(10)				－	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			52,907,000	48,693,401	4,213,599
前期末支払資金残高(12)			502,771,000	502,770,463	537
当期末支払資金残高(11)+(12)			555,678,000	551,463,864	4,214,136

決算報告資料

法人単位事業活動決算書（令和６年４月１日～令和７年３月31日）

（単位：円）

勘定科目			当年度決算額(A)	前年度決算額(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	1,023,786,977	903,428,171	120,358,806
		経常経費寄附金収益	1,998,000	3,802,400	△ 1,804,400
		その他の収益	247,409	164,069	83,340
		サービス活動収益計　(1)	1,026,032,386	907,394,640	118,637,746
	費用	人件費	679,328,936	659,354,307	19,974,629
		事業費	134,690,630	119,229,922	15,460,708
		事務費	60,758,719	64,784,567	△ 4,025,848
		減価償却費	111,372,488	109,639,646	1,732,842
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 25,846,040	△ 25,452,293	△ 393,747
		その他の費用	247,409	164,069	83,340
		サービス活動費用計　(2)	960,552,142	927,720,218	32,831,924
	サービス活動増減差額　(3)=(1)-(2)		65,480,244	△ 20,325,578	85,805,822
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	426,568	154,870	271,698
		その他のサービス活動外収益	4,409,035	1,426,742	2,982,293
		サービス活動外収益計　(4)	4,835,603	1,581,612	3,253,991
	費用	その他のサービス活動外費用	827,900	411,455	416,445
		サービス活動外費用計　(5)	827,900	411,455	416,445
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		4,007,703	1,170,157	2,837,546
経常増減差額	(7)=(3)+(6)		69,487,947	△ 19,155,421	88,643,368
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	112,528,755	768,900	111,759,855
		施設整備等寄附金収益		13,121,932	△ 13,121,932
		その他の特別収益	305,704	5,377,529	△ 5,071,825
		特別収益計　(8)	112,834,459	19,268,361	93,566,098
	費用	固定資産売却損・処分損		434,674	△ 434,674
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	112,528,755		112,528,755
		その他の特別損失		556,745	△ 556,745
		特別費用計　(9)	112,528,755	991,419	111,537,336
	特別増減差額　(10)=(8)-(9)		305,704	18,276,942	△ 17,971,238
当期活動増減差額	(11)=(7)+(10)		69,793,651	△ 878,479	70,672,130
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額　(12)		1,079,621,388	1,135,121,799	△ 55,500,411
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,149,415,039	1,134,243,320	15,171,719
	基本金取崩額　(14)				
	その他の積立金取崩額　(15)		41,500,000		41,500,000
	その他の積立金積立額　(16)		50,000,000	54,621,932	△ 4,621,932
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,140,915,039	1,079,621,388	61,293,651

法人貸借対照表（令和７年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	680,383,664	541,943,242	138,440,422	流動負債	167,270,640	76,547,179	90,723,461
現金預金	512,849,870	395,539,088	117,310,782	事業未払金	128,433,400	29,687,083	98,746,317
事業未収金	151,639,048	134,423,821	17,215,227	その他の未払金	486,400		486,400
未収補助金	14,551,378	10,989,000	3,562,378	１年以内返済予定リース債務	5,592,840	4,019,400	1,573,440
立替金	817,936	991,333	△ 173,397	職員預り金		9,485,696	-9,485,696
前払費用	525,432		525,432	賞与引当金	32,758,000	33,355,000	-597,000
固定資産	2,265,346,406	2,146,720,201	118,626,205	固定負債	99,188,133	89,321,333	9,866,800
基本財産	1,344,284,887	1,396,357,819	△ 52,072,932	リース債務	18,611,485	13,583,605	5,027,880
土地	254,351,671	254,351,671		退職給付引当金	80,576,648	75,737,728	4,838,920
建物	2,201,836,451	2,201,836,451		負債の部合計	266,458,773	165,868,512	100,590,261
減価償却累計額　基本財産	△ 1,111,903,235	△ 1,059,830,303	△ 52,072,932	純資産の部			
その他の固定資産	921,061,519	750,362,382	170,699,137	基本金	927,203,251	927,203,251	
建物	898,733,044	711,768,677	186,964,367	国庫補助金等特別積立金	546,531,075	459,848,360	86,682,715
構築物	128,237,300	128,237,300		その他の積立金	64,621,932	56,121,932	8,500,000
機械及び装置	267,000	267,000		施設整備等積立金	64,621,932	56,121,932	8,500,000
車輌運搬具	3,471,490	3,471,490		次期繰越活動増減差額	1,140,915,039	1,079,621,388	61,293,651
器具及び備品	136,134,668	127,149,478	8,985,190	（うち当期活動増減差額）	69,793,651	△ 878,479	70,672,130
有形リース資産	20,723,230	12,953,710	7,769,520	純資産の部合計	2,679,271,297	2,522,794,931	156,476,366
権利	79,838	79,838					
ソフトウェア	12,687,804	3,530,666	9,157,138				
無形リース資産	3,894,000	5,062,200	△ 1,168,200				
投資有価証券	100,000,000	100,000,000					
退職給付引当資産	80,576,648	75,737,728	4,838,920				
長期前払費用	525,432	1,576,296	△ 1,050,864				
施設整備等積立資産	64,621,932	56,121,932	8,500,000				
減価償却累計額　その他の固定資産	△ 528,890,867	△ 475,593,933	△ 53,296,934				
資産の部合計	2,945,730,070	2,688,663,443	257,066,627	負債及び純資産の部合計	2,945,730,070	2,688,663,443	257,066,627

令和７年度　事業計画・重点目標

●Vision・Mission・Valueの浸透と組織改革について

「利用者も職員も地域も一人ひとりの人生が大切にされ、みんなと共に成長できる社会の実現を目指します。」という青い鳥会のVisionを組織でより浸透させ、職員一人ひとりが責任を持って職務を行うことを目指します。Visionの浸透に向けて、職員一人ひとりの対話の機会を設け、職員の想いが実現できる環境づくりを行います。また、Visionの達成に向けて、法人の組織改革を行い、人事制度グランドデザインを基にした、新たな人事制度の構築に取り組みます。

●虐待防止、権利擁護の取り組みの推進について

昨年度虐待認定事案を真摯に受け止め、今年度は虐待防止、権利擁護への取り組みを着実に行い、再発防止の取り組みを加速させていきます。利用者にとって、個別支援計画に沿った適切な支援を実施し、利用者の意思を尊重した安心安全な生活の提供を行います。また、虐待防止委員会にて、虐待防止マニュアルを見直し、定期的に研修を実施し、権利擁護意識の向上を目指します。

●ICT、DXの活用と人材の定着について

人材獲得に向けたリクルート活動の強化と同時にICT、DXの活用、介護機器を導入し、職員の業務改善、効率化、支援員の身体的負担の軽減を図り、新たな人材の確保と離職防止を図ります。福利厚生や処遇改善を積極的に行い、良質な職場環境づくりを行い、人材の定着を目指します。

●財務規律の強化と適切な事業運営について

拠点の管理者ごとに適切な事業運営を行い、適切かつ公正な資質管理のもと、拠点ごとの事業活動収支差額の黒字化を目指します。各事業所の独立性をより強化し、安定した運営の確立に取り組みます。

●地域における公益的な取り組みと施設整備について

高宮社協「独居高齢者等への配食サービス」への協力やクーリングシェルターとしての施設の開放等を継続します。また、利用者の活動や地域の方々の憩いの場となるように、彦根学園の敷地内に遊歩道を整備します。令和７年４月に整備工事に取り掛かり、今年度内の完成を目指す。完成の際には、地域の方々にも開放できる機会を設けます。

Instagram

AOITORI_KAI

Instagram更新中です！

青い鳥会で職員が見ている光景や、イベントに合わせたホットな情報等をいち早くお届けしています。アカウント名は「aoitori_kai」、ネームタグはこちら。

最新情報を投稿していきますので、是非、みなさんフォロー＆コメントをお願いします!!

編集後記

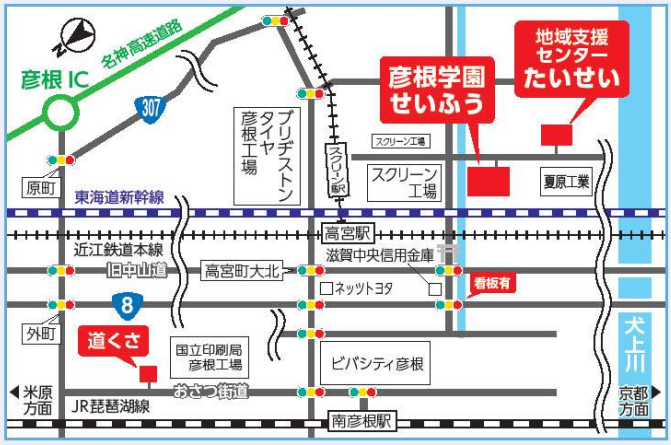
梅雨が明け、夏の陽ざしがまぶしい季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今回の特集では、「Vision・Mission・Value ― 私たちがめざすもの ―」についてご紹介しました。日々の支援の中で感じていること、これからどうありたいかを職員みんなで話し合いながら、ようやく形にすることができました。これからも、この指標を大切にしながら、一人ひとりに寄り添ったあたたかい支援を続けていきたいと思います。

日々の中には、嬉しいこともあれば、思い通りにいかないこともあります。でも、どんな時でも誰かがそばにいて、支え合える関係を大切にしていきたいと思います。

これから暑さも本格化してまいりますので、皆さまどうぞご自愛ください。次号もお楽しみに！

社会福祉法人 青い鳥会が行う事業





滋賀県彦根市高宮町2671番地

□法人事務局（彦根学園内）

◎盲重複障害者支援施設 彦根学園
生活介護・施設入所支援・短期入所（児者）・日中一時支援

滋賀県彦根市高宮町2672番地

◎重症心身障害者通園施設 せいふう
生活介護・短期入所・日中一時支援

滋賀県彦根市高宮町2690番地２

□地域生活支援センター たいせい

◎グループホームたちばなE/W
共同生活援助・短期入所

◎相談支援事業所 てんしん
指定特定相談支援・障害児相談支援

滋賀県彦根市岡町30番地２

◎日中一時支援事業所 道くさ
日中一時支援

滋賀県愛知郡愛荘町川原702番地

□愛荘町川原事業所

◎生活介護事業所 すら～ぶ
生活介護

◎日中一時支援事業所 か～む
日中一時支援

発行
社会福祉法人青い鳥会　彦根学園　〒522-0201滋賀県彦根市高宮町2671
【TEL】0749-22-2266　【FAX】0749-22-9767　【e-mail 】aoitori@hikogaku.com
印刷:近江印刷（株）